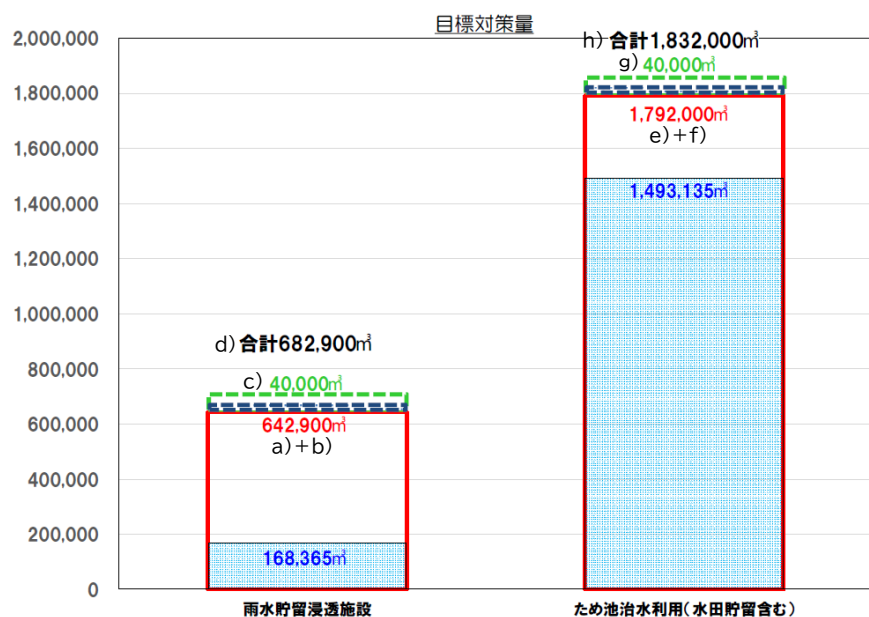


大和川流域における 雨水貯留浸透施設等の整備状況

令和7年1月28日
奈良県

2-1. 大和川特定都市河川流域における目標対策量

- ◆ 昭和57年の大和川大水害を契機に、大和川流域を洪水被害から守るため、県と市町村で流出抑制に取り組むことに合意し、昭和60年7月に「流域整備計画(p.2参照)」を策定
- ◆ 令和3年12月に特定都市河川の指定を受け、令和4年5月に「大和川流域水害対策計画」を策定し、目標対策量を雨水貯留浸透施設で68.29万m³、水田貯留を含むため池の治水利用で183.2万m³とした。

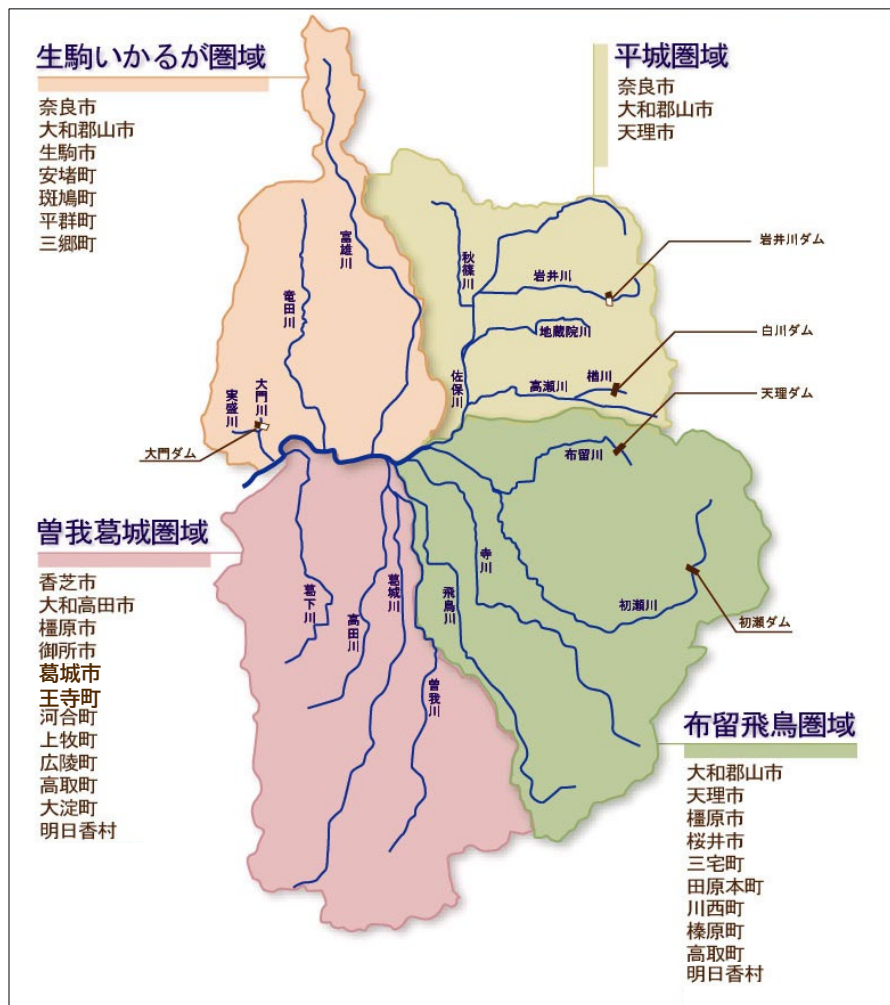


大和川流域水害対策計画における対策量	雨水貯留浸透施設	ため池治水利用(水田貯留含む)
①大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量	a) 11.9 万m ³	e) 170 万m ³
②「奈良県平成緊急内水対策事業」で定められた対策量	b) 52.39万m ³	f) 9.2万m ³
③計画期間中の更なる流域対策を積極的に進める今後5年間の対策予定量(民間事業者による対策含む)	c) 4.0 万m ³	g) 4.0万m ³
合計	d) 68.29万m ³	h) 183.2万m ³

大和川流域水害対策計画における雨水貯留浸透施設の整備及びため池の治水利用による目標対策量

2-2. 大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量

◆ 流域整備計画では、奈良県と市町村をあわせて約180万m³の貯留対策に取り組むことになっている。(最小必要量)



奈良県と市町村の流域対策の最小必要量

機関名	雨水貯留浸透施設対策量 (m ³)	ため池治水利用対策量 (m ³)	機関名	雨水貯留浸透施設対策量 (m ³)	ため池治水利用対策量 (m ³)
奈良市	14,610	310,500	斑鳩町	1,630	29,700
大和高田市	3,790	18,300	安堵町	540	9,400
大和郡山市	5,410	71,700	川西町	810	6,700
天理市	3,520	65,700	三宅町	270	3,000
橿原市	6,770	40,200	田原本町	2,440	29,700
桜井市	5,140	30,300	高取町	1,080	18,900
御所市	4,060	48,900	明日香村	540	15,900
生駒市	5,410	62,700	上牧町	1,350	21,600
香芝市	2,710	55,300	王寺町	1,350	21,600
葛城市	1,890	40,000	広陵町	1,900	32,400
平群町	1,350	20,700	河合町	1,350	19,500
三郷町	1,080	25,800	大淀町	-	1,500
小計	69,000	1,000,000	奈良県	50,000	700,000
合計	119,000	1,700,000			

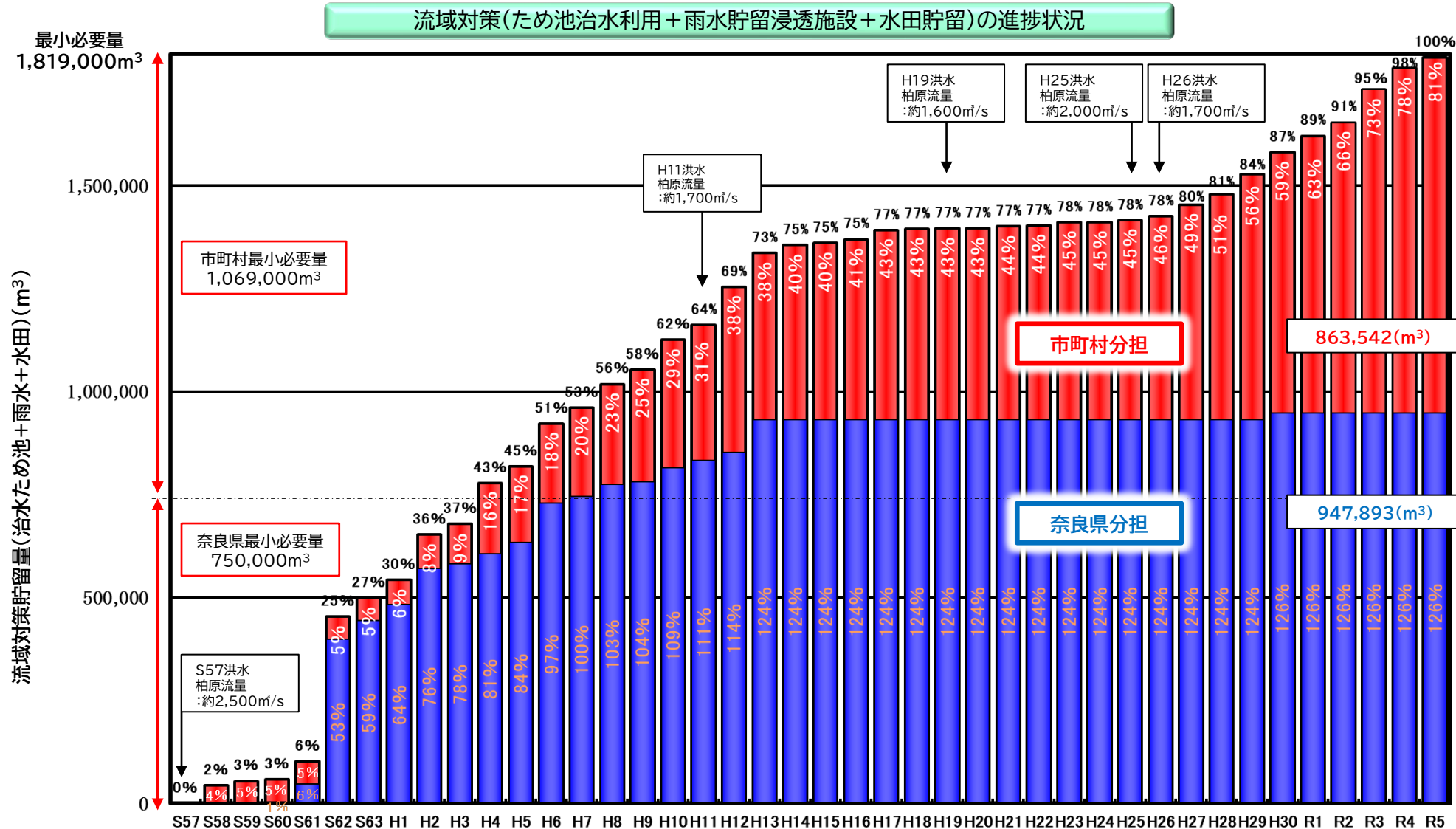
合計 181.9万m³

附則1 今後早急に検討するものについては、成案が出来次第、実施要領の変更により、具体的内容を組み込むものとする。

【大和川流域整備計画実施要領を一部改変して引用】

2-3. 大和川流域総合治水対策の「流域整備計画」で定められた対策量の進捗状況

- ◆ 令和6年3月末時点で、最小必要量の100%を達成
- ◆ 県は126%を達成、市町村は81%の達成にとどまっているものの、近年、市町村の対策率も伸びている



2-4. 直近一年の進捗状況(前回報告時からの進捗率)

- ◆ 大和郡山市、葛城市、上牧町、平群町、広陵町が新たに「雨水貯留浸透施設」「ため池治水」などの「貯める対策」を実施
- ◆ その結果、市町村全体の対策率は昨年度と比べて78%から81%に増加
- ◆ 一方、対策率が伸び悩む市町もあり、浸水被害の軽減に向けて引き続き貯める対策の推進が必要

市町村名	[C] 最小必要量 (m3)	ため池+雨水貯留+水田 (R5.3)		ため池+雨水貯留+水田 (R6.3)		過年度未計上量	直近一年の増加量 B-A	直近一年の進捗率 (B-A)/C×100
		[A] 対策清量	対策率 (%)	[B] 対策清量	対策率 (%)			
奈良市	325,110	110,594	34.0	110,594	34.0			
大和高田市	22,090	27,812	125.9	27,812	125.9			
大和郡山市	77,110	60,642	78.6	61,130	79.3		488	0.6
天理市	69,220	46,575	67.3	46,575	67.3			
橿原市	46,970	54,294	115.6	54,294	115.6			
桜井市	35,440	16,444	46.4	16,444	46.4			
御所市	52,960	32,810	62.0	32,810	62.0			
生駒市	68,110	75,170	110.4	71,768	105.4		-3,402	-5.0
香芝市	58,010	38,607	66.6	38,607	66.6			
葛城市	41,890	50,289	120.1	61,977	148.0	5,688	6,000	14.3
平群町	22,050	41,021	186.0	42,029	190.6		1,008	4.6
三郷町	26,880	46,396	172.6	46,396	172.6			
斑鳩町	31,330	27,689	88.4	27,689	88.4			
安堵町	9,940	37,076	373.0	37,076	373.0			
川西町	7,510	8,458	112.6	8,458	112.6			
三宅町	3,270	7,520	230.0	7,520	230.0			
田原本町	32,140	40,810	127.0	44,810	139.4	4,000		
高取町	19,980	15,216	76.2	15,216	76.2			
明日香村	16,440	16,423	99.9	16,423	99.9			
上牧町	22,950	11,450	49.9	20,024	87.3		8,574	37.4
王寺町	22,950	23,814	103.8	23,814	103.8			
広陵町	34,300	16,440	47.9	20,466	59.7	3,200	826	2.4
河合町	20,850	25,610	122.8	25,610	122.8			
大淀町	1,500	6,000	400.0	6,000	400.0			
小計	1,069,000	837,160	78.3	863,542	80.8	12,888	13,494	1.3
奈良県	750,000	947,893	126.4	947,893	126.4			
合計	1,819,000	1,785,053	98.1	1,811,435	99.6			

取組状況 (R5.3)			取組状況 (R6.3現在)		
ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留	ため池 治水利用	雨水貯留 浸透施設	水田貯留
検討中	検討中	予定なし	検討中	検討中	予定なし
予定なし	実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし
実施中	検討中	実施中	実施中	検討中	実施中
実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
予定なし	検討中	予定なし	予定なし	検討中	予定なし
検討予定	検討予定	予定なし	検討予定	検討予定	予定なし
実施中	実施中	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
検討予定	予定なし	予定なし	検討中	予定なし	予定なし
実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
予定なし	検討予定	予定なし	予定なし	検討予定	予定なし
予定なし	実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし
検討予定	予定なし	検討予定	検討予定	予定なし	検討予定
検討予定	予定なし	予定なし	検討予定	予定なし	予定なし
実施中	検討予定	予定なし	検討中	検討予定	予定なし
実施中	実施中	検討予定	実施中	実施中	検討予定
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
検討中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
実施中	予定なし	予定なし	実施中	予定なし	予定なし
予定なし	検討中	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし
予定なし	実施中	実施中	予定なし	実施中	実施中
予定なし	実施中	検討予定	予定なし	実施中	検討予定
予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし	予定なし

凡例(ため池+雨水貯留+水田)

- 対策率: 25%以上50%未満
- 対策率: 50%以上100%未満
- 対策率: 100%以上

凡例(取組状況)

- 予定なし 当面、検討の予定がないもの
- 検討予定 具体的な候補地は決まっていないが、今後、検討を行っていく予定のもの
- 検討中 具体的な候補地が決まり、関係者と調整中または近々、調整を行う予定のもの
- 実施中 工事中または設計中(関係者と概ね合意済み)
- 対策率100%を超えている場合
- 事業完了や方針変更により取組状況に変化があったもの
- 状況が次の段階に進んだもの

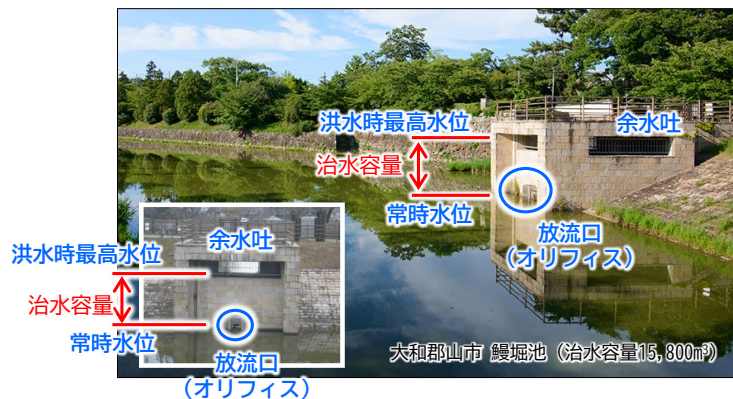
2-5. ため池治水利用の事例紹介と今後の進め方

(1) ため池の治水利用について

- 利水者（農家）の協力を得て、ため池の利水容量の一部を治水容量に転換
- ため池の放流口を小さくする（オリフィスの設置や余水吐の改良等）ことで、ため池の上流域に降った雨水を「ため池」に一時貯留し流出量を低減させ、下流河川や水路の氾濫を抑制（まちの中の小さなダムであり、大きな治水効果が期待できる）



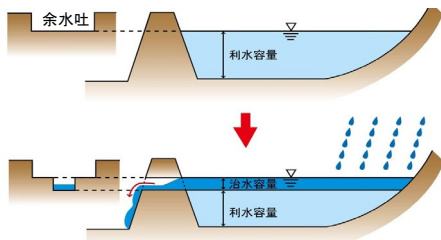
【放流口(オリフィス)の設置】



【余水吐への切り欠き】



下池（葛城市）



(2) 令和5年度の実施事例

葛城市 林堂新池（はやしどうしんいけ）



ため池所有者からは、治水利用のイメージをしにくいなど、ため池を治水利用することに対する懸念

ため池治水実施後の不安を取り除くための資料を用いて粘り強く説明を実施

〔ため池治水を実施しているため池の晴天時の写真、雨天時の写真などを提示〕

上牧町 中山谷池（なかやまだにいけ）



ため池所有者からは、治水利用として利用できる根拠資料がないと同意することは難しいとの意見

ため池治水利用の基礎調査に基づく、治水利用可能量を示した丁寧で粘り強い説明を実施

〔現在の受益地面積に対する治水利用の基礎調査を実施し、治水利用に必要な容量を確保したうえで、治水利用できる容量がどれだけあるかを数値で提示〕

(3) ため池の治水利用推進の課題と今後の進め方

【課題】

- ため池の治水利用のイメージが分からず同意が得にくい
- 利水に必要な貯留量が分からないため、治水転用に同意が得にくい
- 治水利用の必要性などを説明するのに苦慮
- 粘り強い交渉が必要になるが、職員が不足
- ため池の管理者（水利組合等）の減少・高齢化により維持管理が負担
- ため池老朽化対策工事に併せて治水利用を進めているが、地元負担も伴い事業が進んでいない
 - ・ 治水利用を進めるには取組のインセンティブになるような制度が必要

【今後の進め方】

- ➔ 希望する市町村に対し、県が効果検証などの技術支援を実施
- ➔ ため池改修（修繕）を行う場合は、治水利用を前提に地元と協議
- ➔ 治水利用を行うため池については、改修整備にかかる地元負担軽減策を検討